

2019
年度

保健師のための 放射線教育研修



協賛：公益社団法人 日本アイソトープ協会

地域住民のみなさまの健康サポートを行ってきた保健師の方々を対象に、放射線に関する知識、とくに放射線被ばくに伴うリスクを理解していただき、「住民との放射線リスクコミュニケーション」を円滑に実践できるスキルの習得を目指した研修です。

研修会では、講義のほかに、放射線測定器を使った演習及びグループワークを通して放射線のリスクコミュニケーションスキルを高めていただければと思います。

原子力、放射線災害時に被災者の支援活動にあたる行政保健師・産業保健師のご参加をお待ちしております。

プログラム

講義

- 原子力・放射線災害と保健師の役割
- 放射線被ばくに伴うリスクを理解する
- 日常生活におけるリスクを理解する

(1) 測定実習

- 自然放射線の理解：放射線測定器を用いた自然放射線の測定
- 移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策：撮影現場における線量の把握

(2) グループワーク

住民の放射線不安にどう答えるか
—事例を通じて—

日程・会場

東京

12月2日(月)

東京医療保健大学 国立病院機構キャンパス (東京都目黒区東が丘2-5-4)

対象

保健師 (行政保健師、産業保健師)

募集人数

10名 (先着順)

受講料など

プログラム・受講料・テキスト、申込方法などは、受講案内ホームページの保健師開催案内詳細でご確認ください。

受講案内
ホームページ

<https://www.jrias.or.jp/seminar/cat9/>のページより各会場にお申込みください。



お問い合わせ先

東京都文京区本駒込二丁目28番45号
公益社団法人日本アイソトープ協会 学術振興部学術課事務局
TEL 03-5395-8082 E-mail: gakujuitsu@jrias.or.jp